

特集

スポーツを楽しむもう

生活の中にスポーツを



有漢スポーツパーク・グラウンドゴルフ場にて

市は、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、市民誰もがいつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を目指しています。

今月号では、生涯スポーツに取り組む市民の皆さんを紹介いたします。

10月は「体力づくり強調月間」。いろいろなスポーツ行事が開催されます。これを機会に心地よい汗を流してみませんか。

■問い合わせ スポーツ振興課

TEL 21 0425

市が進める スポーツ振興

市は、今年3月に「高梁市スポーツ振興計画」をまとめました。計画書では、昨年5月から6月に実施した市民意識調査に基づく現状と課題を示した上で、スポーツの振興を図っていくこととしています。

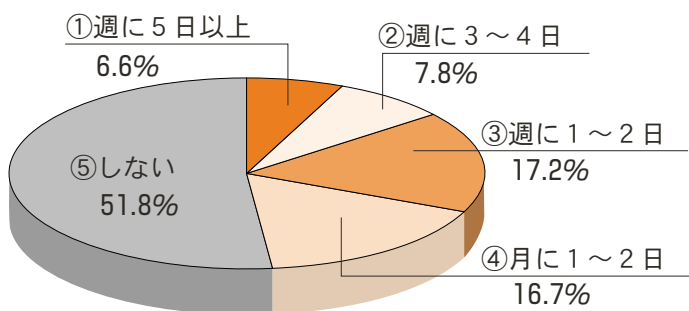
この調査で、日常的に運動していると答えた人は約32%（グラフ1、①②③の合計）で、これは全国調査の約60%に比べるとかなり低い状況となっています。

グラフ2では、「時間に余裕がない」「施設・場所がない」「仲間がない」などのスポーツをする際の問題点がうかがえます。グラフにはありませんが、時間的な余裕や金銭面での負担を問題とする若年層と、健康・体力面での不安を抱える中高年層に二極化している傾向にあることも分かりました。

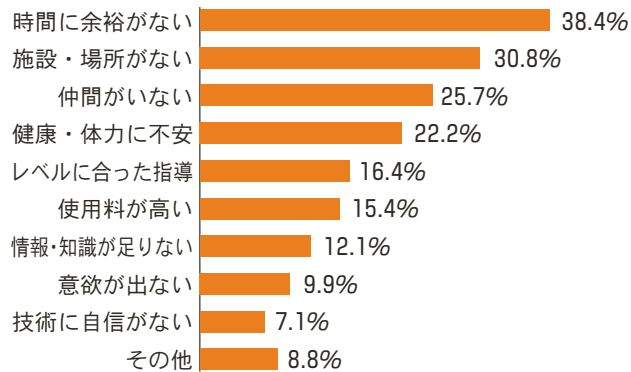
施設面については、「スポーツをする施設・場所がない」と回答した人が30.8%と非常に多く、また、年齢・性別・地区別を問わず公共スポーツ施設

を利用したい人が多数ありました。整備してほしいスポーツ施設では、温水プール、スポーツジム、ウォーキングコースなど（グラフ3）健康づくりに利用できる施設が多く、市民の皆さんが健康に気を配っていることがうかがえます。

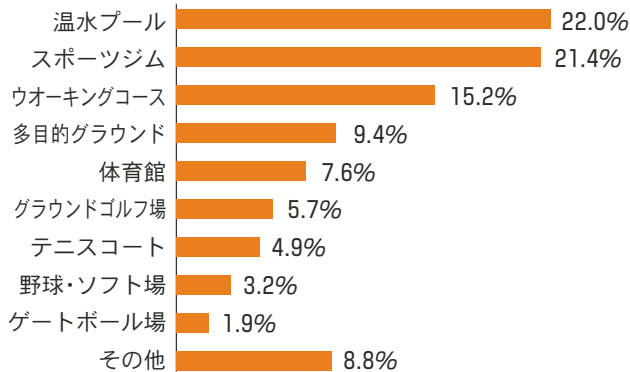
【グラフ1】スポーツをする頻度



【グラフ2】スポーツをする際の問題



【グラフ3】整備してほしいスポーツ施設



※「スポーツ、健康に関する市民意識調査」より

市内各地域（高梁・有漢・成羽・川上・備中）から各年代によって人口割で配分した人数を無作為に抽出し、調査票を配布。（20歳以上を対象）

スポーツ振興の 具体的方策

市民一人ひとりが、スポーツに親しむことによって、心身の健康保持・増進と交流が図れるよう、計画書では次の4つの具体的方策を掲げています。

1. 生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ環境の整備充実
2. 質の高いスポーツ指導者の確保と競技力の向上
3. 子どもの運動に親しむ資質・能力や体力を培う学校体育・スポーツの充実
4. 安全で気軽に利用できる施設および拠点となるスポーツ施設の充実整備